

令和8年1月25日執行

琴浦町長選挙候補者選挙公報

琴浦町選挙管理委員会

昨年は、日本列島の各地で自然災害による危機的状況が頻発に起きました。石川県能登地方の地震をはじめとして、大雨・洪水、そして大規模な林野火災が多く発生したところです。気候変動がもたらすもの、この異常が災害という形で激甚化しています。

また、海水温の上昇、海流の変化等により、養殖が大打撃を受け、海の生物の生息域が変わり、日本海側、太平洋側で獲れる魚も変わりました。

100年に1度あるかどうかといわれていたようなことが、毎年のようにどこかで起きており、防災への意識を高め、減災となる対策を講じていかなければなりません。

琴浦町においては、比較的大きな災害に見舞われることは少なかったものの、まずは我が身をそして地域での助け合い、自助、共助、公助の連携が重要になってきます。まだ余震もあり余震視できません。

そして夏の酷暑は人命をも脅かすものであります。軽んずることなく、健康管理、熱中症対策を十分に行っていく必要があります。

琴浦町の未来を創るために、今何をすべきか!

琴浦ブランドの開拓

* 第一次産業である農林水産業は町の要であり、琴浦ブランドの確立、生産性向上の取り組みを行うと共に、特に農用地は国土保全の役割も担っており、災害に強い基盤や体制、技術の向上を図ります。

琴浦に人が集う

* 雇用を確保し、町の賑わいを取り戻すため、産業の誘致に取り組むとともに、個々での起業等、新たなチャレンジをする人への支援を行います。

琴浦で安心子育て

* 人口減少は、さまざまなところで影響を及ぼしています。子どもを産み育てやすい環境の整備、不安なく相談できる体制の充実を図ります。

琴浦で異文化交流

* 移住や田舎暮らし体験での絆を大切に、異文化交流の機会を深め、さらに人が集まり、何かが始まる楽しいまち、そして居心地のいいまちを目指します。

琴浦は充実の教育環境

* 将来を見据えた教育環境の質の充実、文化芸術・スポーツ等、可能性を伸ばす機会や場の提供を行っていきます。

琴浦は地域資源を循環活用

* 地域資源の循環活用を実証化し、カーボンニュートラルなまちを目指します。



居心地がよいまちづくり
福本まり子

始めよう! 新・琴浦。

古い政治に終止符を!!!

〔未来の琴浦町のために①〕

人口が減って、高齢化が進んでも安全・便利に暮らせる町をつくる

〔未来の琴浦町のために②〕

人口減少を食い止め、人口動態予測を上振れさせる

〔未来の琴浦町のために③〕

琴浦出身で町外に居住している人材を積極的に関係人口とする

〔未来の琴浦町のために④〕

山陰観光の拠点となるために必要なモノやコトを掘り下げる

〔未来の琴浦町のために⑤〕

町を明るくする活動を行っている人たちへの支援をする

〔未来の琴浦町のために⑥〕

これらのことを実現するために、役場にプロジェクトチームを作る

選ぼう! 琴浦の未来。



あかり

明里まさき
50歳

自分へと、必ずつながる その一票

投票日は1月25日(日)

投票時間
午前7時～午後7時

この選挙公報は、候補者から提出された原文を写真にとって、そのまま掲載したものです。

令和8年1月25日執行

琴浦町長選挙候補者選挙公報

琴浦町選挙管理委員会

にぎわいのある「まちづくり」

～一度離れたから、見えたものがある～

一期目の公約は「住んで楽しいまちづくり」を掲げて、町政を運営してまいりました。私は目立つタイプでも、話が上手いタイプではありませんが、誠心誠意でお話をしていたと思っていました。

町内を巡りながら感じたのは、「伝えることの大切さ」「人と向き合う姿勢の大切さ」でしたが、「一度離れたから、見えたものがある」と思い、町政課題にこれまでの経験と、新しく得た気づきの全てを捧げて再度、町民の皆様と町政の運営に当たらせていただきたいと思います。

この度、「にぎわいのあるまちづくり」に 4 つの政策ビジョンを掲げさせていただきます。これらを皆様とともに取組、活気あふれる琴浦町にしたいと邁進します。

4 つの創造政策

教育：ひとづくり

教育は子どもだけのものではありません。学校を卒業して社会に出た後も、人生を途中で立ち止まって、学び直し再挑戦できる環境を創ります。

産業：しごとづくり

難しい経済話ではなく、身近な暮らしの話です。今、この町で頑張っている人を支え、仕事と暮らしが無理なく繋がるまちをつくります。

健康・福祉：幸福度の高い社会

病気をしないことだけが健康ではありません。「ちょっと聞いても工工かえ」と言える、人と人の距離が近い町、人が集い、つながる居場所づくり、そして永く家で暮らせる「まちづくり」

環境：脱炭素で持続可能な社会

自然環境を守ることは、未来の暮らしを守ること。無理なくできることから始め、次世代にこの環境(自然)を引き渡し「やっぱり琴浦町がいい」と思うまちづくり。



小笠原ひろあき

地域の繋がりと 関係で広める絆

五十年住んだ東京に全てを残し単身で移住
生まれ育った米子市の皆生温泉に故郷はなし
縁もゆかりもない琴浦町へ橋でしたが
地元地域の皆さんのご支援と繋がりで
思いもしない縁があり ゆかりがあることを知りました
太いロープで引かれたのだと感じています
先祖様を敬い代々継承されておられる風土を守り
未来に託すのでなく
小さな身近の事柄から解決する
語らいと繋がりがあふれる風土づくりがしたい



中川よしまさ

昭和二十六年五月生
七十四歳
昭和四十五年
米子工業高校機械科卒業

自分へと、必ずつながる その一票

投票日は1月25日(日)

投票時間
午前7時～午後7時

この選挙公報は、候補者から提出された原文を写真にとって、そのまま掲載したものです。